62 01 02 01 09 800

# 事務事業評価表

## 1．基本事項

作成日　令和04年01月14日（金）

| 事務事業 | 渋沢栄一資料室管理運営事業 | 担当課 | 渋沢栄一記念館 | 担当係 | 渋沢栄一記念館 | 管理番号 | 6206 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第2次総合計画 | | 事業区分 | ■ 自治事務 | □ 法定受託事務 → | 対象拡大 有□<br>サービス拡充 有□ | | |
| 行政計画分野別名 大項目 | 200002 次代を担う人と文化を育むまちづくり（教育・文化） | 根拠法令個別計画等 | 文化財保護法、博物館法<br>埼玉県文化財保護条例<br>深谷市文化財保護条例<br>深谷市渋沢栄一記念館条例<br>「渋沢栄一翁と論語の里」整備活用計画 | | | | |
| 中項目 | 200002 誰もが生きがいを持ち、学ぶことのできるまちづくり | | | | | | |
| 小項目 | 200002 郷土の歴史・文化の継承と活用 | | | | | | |

| | |
|---|---|
| 事業概要 | 渋沢栄一記念館に設置されている資料室について、快適・安全な観覧環境を維持するため設備の適切な維持管理を行う。<br>解説員を配置するとともに、常設展示・企画展示の企画運営を行う。 |
| 目的<br>※何のために | 渋沢栄一翁の事績を広く知らしめるため。 |
| 対象<br>※誰・何を対象に | 観覧者。 |
| 手段<br>※どのように | 資料室への解説員の配置と設備の適切な維持管理を図るとともに、常設展示・企画展示の企画・運営を行う。 |
| 成果<br>※何を求めるか | 快適かつ安全な観覧環境を提供するとともに、常設展示・企画展示の開催により再訪の観覧者を増やす。 |
| 執行体制 | ■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ NPO 民間団体　■ その他（ 会計年度任用職員 ） |

事務事業を構成する予算事業

| 会計区分 | 款 | | 項 | | 目 | | 細事業名 | 前年度決算額（円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般会計 | 02 | 総務費 | 01 | 総務管理費 | 09 | 地域文化振興費 | 一般事務経費 | 4,362,168 |
| | 00 | | 00 | | 00 | | | 0 |
| | 00 | | 00 | | 00 | | | 0 |
| | 00 | | 00 | | 00 | | | 0 |
| | 00 | | 00 | | 00 | | | 0 |

本事業の主な業務

- 渋沢栄一資料室の維持管理・運営
- 常設・特別展示の企画・運営・管理
- 資料解説、見学者の受け入れに関すること
- 展覧会関連事務の実施に関すること
- 渋沢栄一記念館の整備・改修（展示室・資料保管室）
- 八基公民館との連絡調整

## 2．事業費（投入コスト）

単位：円

| 区分 | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年度別計画 | | 設備修繕<br>備品購入 | 設備修繕<br>備品購入 | 設備修繕<br>備品購入 | 設備修繕<br>備品購入 | 設備修繕<br>備品購入 | 設備修繕<br>備品購入 |
| 事業費 | 予算（現額） | 2,041,000 | 1,979,000 | 2,243,000 | 4,605,000 | 584,000 | 532,000 |
| | 決算額 | 1,927,017 | 1,966,094 | 2,017,393 | 4,362,168 | 0 | 0 |
| 財源内訳 | 国支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 他特定財源 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 1,927,017 | 1,966,094 | 2,017,393 | 4,362,168 | 584,000 | 532,000 |
| 人件費 | 従事職員数（人） | 0.95 | 1.80 | 1.70 | 1.45 | 1.45 | 1.45 |
| | 人件費相当試算 ※1 | 7,212,400 | 14,007,600 | 13,363,700 | 11,797,200 | 11,797,200 | 11,797,200 |
| | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| （総事業費試算） | | 9,139,417 | 15,973,694 | 15,381,093 | 16,159,368 | 12,381,200 | 12,329,200 |

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

# 事務事業評価表

## ３．評価指標

| グラフ表示 | 区分 | 指標名 | | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 目標なし |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| □ | 活動指標１ | 設備・備品の修繕・更新等 | 目標値 | 点 | | | | | | | ■ |
| | | | 実績値 | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | 経年劣化等に伴うものであるため、数値目標の設定にはそぐわない。 | | | | | | | |
| □ | 活動指標２ | 企画展開催回数 | 目標値 | 回 | 2.00 | 2.00 | 2.00 | 2.00 | 2.00 | 2.00 | □ |
| | | | 実績値 | | 2.00 | 5.00 | 4.00 | 4.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | 春と秋には企画展を開催する（会期は３か月位） | | | | | | | |
| □ | 活動指標３ | 企画展開催日数 | 目標値 | 日 | 180.00 | 180.00 | 180.00 | 180.00 | 180.00 | 180.00 | □ |
| | | | 実績値 | | 198.00 | 342.00 | 308.00 | 201.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | 春と秋には企画展を開催する（会期は３か月位） | | | | | | | |
| ■ | 成果指標１ | 渋沢栄一記念館来場者数 | 目標値 | 千人 | 19.00 | 18.00 | 19.00 | 74.00 | 100.00 | 100.00 | □ |
| | | | 実績値 | | 18.00 | 16.00 | 114.00 | 94.10 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | 前年度比２％増、ただし令和２年度以降は新型コロナウイルス感染防止策のため見直し | | | | | | | |
| □ | 成果指標２ | 企画展来場者数 | 目標値 | 千人 | 0.00 | 9.00 | 15.00 | 50.00 | 50.00 | 50.00 | □ |
| | | | 実績値 | | 9.00 | 15.00 | 101.00 | 60.80 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | 前年度比増が目標。ただし令和２年度以降は新型コロナウイルス感染防止策のため見直し | | | | | | | |
| □ | 活動指標４ | 解説員配置日数 | 目標値 | 日 | 359.00 | 359.00 | 359.00 | 269.00 | 359.00 | 359.00 | □ |
| | | | 実績値 | | 359.00 | 359.00 | 360.00 | 267.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | 開館日一人常駐。ただし令和２年度以降は新型コロナウイルス感染策大防止のため見直し | | | | | | | |

## ４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

| | | |
|---|---|---|
| 活動<br>（意図した活動を行っているか） | A | 目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明<br>新一万円札の肖像決定、大河ドラマ館の放送決定等を背景に、それらと連携・関連させた企画展示を行うことができた。 |
| 成果<br>（意図した成果が上がっているか） | A | 目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明<br>新型コロナ影響による約２カ月の閉館もあったが、予約システム導入などの対策により目標値を大きく上回る来場者を受け入れることができ、渋沢栄一とその周辺の郷土の先人達についての情報発信ができた。 |
| 効率性<br>（効率的に事務を行っているか） | A | 目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明<br>設定目標を大きく上回る来場者の増加と、新型コロナウイルス感染拡大防止という相反する状況の中、安全・快適な施設環境の提供を効率的に行うことができた。 |

| 評価者 | 渋沢栄一記念館　澁澤武雄 |
|---|---|

## ５．前年度改善改革プラン達成状況

| | |
|---|---|
| 前年度<br>改善・改革案 | 新型コロナウイルスとの共存を図りながら、必要なガイドラインに沿って安全な見学体制を整えることが喫緊の課題である。 |
| 達成状況<br>及び<br>その効果 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ハード・ソフトの両面で見学環境の整備を図り、緊急事態宣言解除後の先行き不透明な状況下でも柔軟な対応を行うことができた。 |

# 事務事業評価表

## ６．所属長評価（今後の方向性）

| 事務事業 | 渋沢栄一資料室管理運営事業 | 担当課 | 渋沢栄一記念館 | 担当係 | 渋沢栄一記念館 | 管理番号 | 6206 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

□ ① 現状のまま継続
■ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
■ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

**評価の内容説明**

新型コロナ状況下で施設運営するためのハード・ソフト面の整備が一段落し、対応ノウハウも蓄積されてきた。これら資産を活かして見学受入体制と適切な見学環境の維持・充実を図っていく。

| 評価者 | 渋沢栄一政策推進部　青木克尚 |
|---|---|

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

## ７．改善改革プランと今後の課題

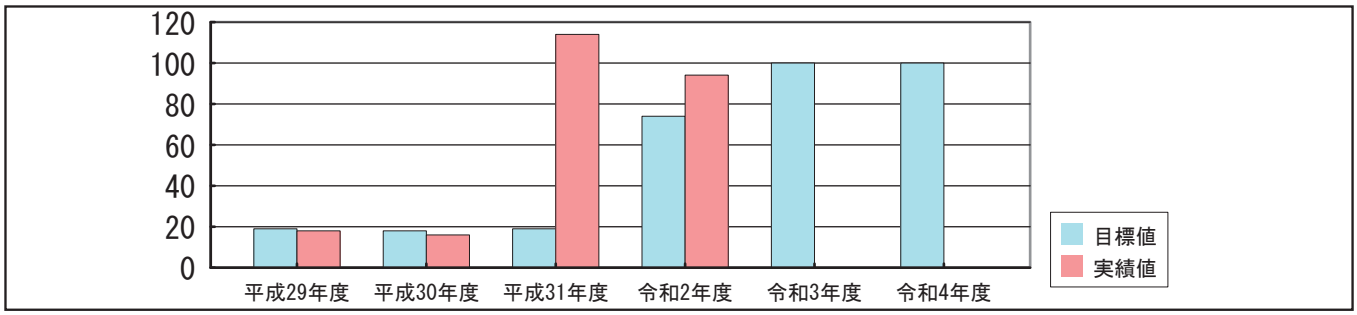
| 改善・改革案 | これまでに整えてきた新型コロナウイルス感染防止対策で安全な見学環境の維持を図りつつ、随時対策を更新しながら具体的運用をしていく。<br>※資料室管理運営にかかる予算については、令和３年度から既存の「渋沢栄一顕彰事業」の予算に組み入れた。 |
|---|---|

## ８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

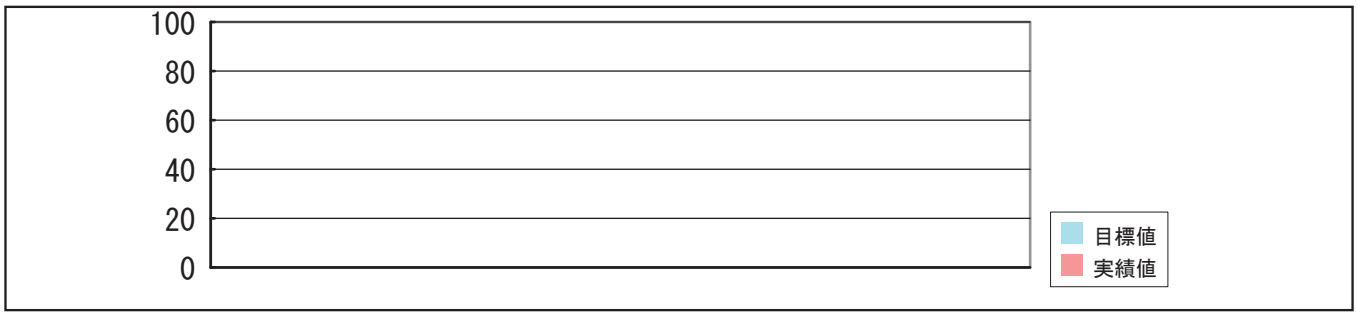
| 今後の課題 | これまで蓄積してきた運営ノウハウと今後の対策を人数の増えた運営関係スタッフ全員に水平展開し、徹底していく必要がある。 |
|---|---|

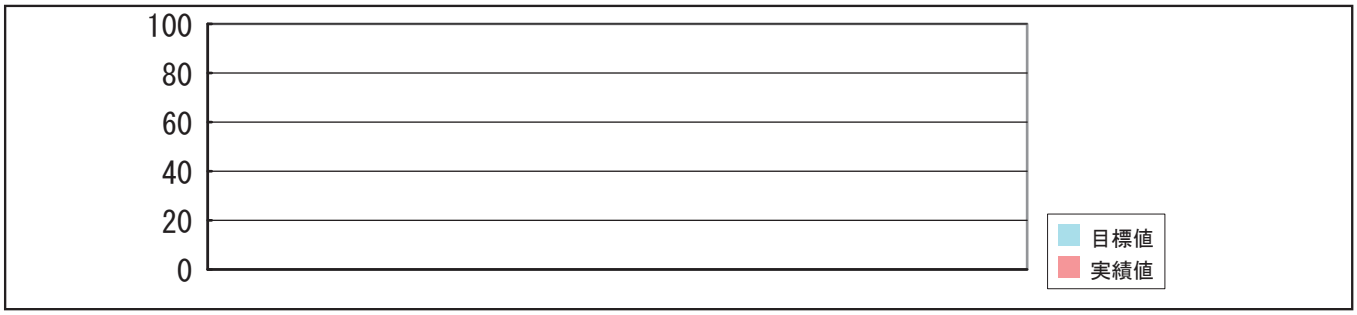
## ９．評価指標グラフ

| 区分 | 成果指標１ | 指標名 | 渋沢栄一記念館来場者数 |
|---|---|---|---|




| 区分 | | 指標名 | |
|---|---|---|---|




| 区分 | | 指標名 | |
|---|---|---|---|